事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和元年 5月21日 事業所名 総合療育センター 西部分所 きらきら通園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
	1	利用定員が指導訓練室等スペースと の関係で適切であるか	0		・子どもの動線や個性に配慮した室内の配置を心掛けるとともに必要なスペースの確保に努めた。	・環境設定の工夫の継続。
	2	職員の配置数は適切であるか	0		・活動内容に合わせたリハビリスタッフの参加。・クラスの子どもの状況に合わせて、職員を適切に配置。	・今後も継続。
環境・体制	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	0		・おむつ替えや着替えは子ども が分かりやすように決められた 場所で実施。 ・子どもの特性に合わせた環境 設定やバリアフリーに配慮。	・おむつ交換台のベッドの高さや子ど もの体の大きさから移動が難しい場合 の対応を検討する。
整備	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ご せる環境になっているか。また、子ども 達の活動に合わせた空間となっている か	0		・自立の妨げになる刺激をできるだけコントロールは、活動に集中できるよう環境を整備。 ・床面にマットを引くなどの面に配慮し、玩具や環境設備の消毒を実施。 ・看護師から保護者に向けてでいる。 ・感染症発生時のメール配信を実施。 ・行事において活動空間が重ならないようインフォメーションに配慮。	・可能な範囲で予測される感染症予防対策を継続する。
	\$	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか			【クラス運営】 ・各クラスの特性に応じたクラスミーティングの実施。(保育士、リハビリスタッフ、看護師など多職種が参加) ・クラスミーティングにて、目標設定と修正を実施。 【業務】 ・分担業務をマニュアル化。 ・年度毎、計画→実施→見直しを行い、マニュアルの修正。	・より良い支援を継続させていけるようPDCAサイクルを継続する。

業務改善	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施する とともに、保護者等の意向等を把握 し、業務改善につなげているか	0		実施、説明。	・評価表の結果をもとに検討課題を整理して、運営に活かしていく。 ・定期的に懇談の時間を設けて、保護者の意向等を把握できるように努める。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	0		・事業所向けや保護者用の自己 評価表による調査を実施し、 ホームページに掲載。 ・保護者用の自己評価の結果は 文書で配布。	・今後もホームページ掲載継続。
	8	第三者による外部評価を行い、評価 結果を業務改善につなげているか		0		・当所全体の課題として、今後検討。
	9	職員の資質の向上を行うために、研 修の機会を確保しているか	0		・保育現場での課題を研修テーマとしての所内研修やケース検討研修を実施。 ・全職員の参加する所外研修 (年2回)を始め、計画的に外部研修へ参加。	・今後も継続。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保 護者のニーズや課題を客観的に分析 した上で、児童発達支援計画を作成 しているか	0			・6か月で達成でき、より具体的な目標を提示し、保護者と共有できやすい個別支援計画にする。
	11)	子どもの適応行動の状況を図るため に、標準化されたアセスメントツールを 使用しているか	0		・PT、OT、ST、心理士の評価 を実施。その結果を参考にし た。	・PT、OT、ST、心理士の協力を得ながら、今後も継続。
	(12)	児童発達支援計画には、児童発達 支援ガイドラインの「児童発達支援の 提供すべき支援」の「発達支援(本 人支援及び移行支援)」、「家族支 援」、「地域支援」で示す支援内容か ら子どもの支援に必要な項目が適切 に選択され、その上で、具体的な支 援内容が設定されているか	0			
	3	児童発達支援計画に沿った支援が 行われているか	0			

				1 ,	
適切な支援の提	14)	活動プログラムの立案をチームで行っ ているか	0	・年間カリキュラムを立案し、 それを基に月案を計画。・クラス単位(保育士・指導員)で活動案を立案し、PT、 OT、ST、心理士と協議して、 最終月案を作成。	・今後も継続。
供	15	活動プログラムが固定化しないよう工 夫しているか	0		・今後も、活動や子どものねらいを、 保護者にもわかりやすく説明し、意見 等を把握しながら運営する。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と 集団活動を適宜組み合わせて児童 発達支援計画を作成しているか	0	・低年齢の集団であるため、遊びや生活の中で個別にかかわる という前提で作成している。	・今後も年齢に適した遊びの提供を継続する。
	1	支援開始前には職員間で必ず打合 せをし、その日行われる支援の内容や 役割分担について確認しているか	0	ハビリスタッフ間で、活動の振 り返りや打ち合わせを実施する ことで、子ども一人ひとりの支 援内容や役割を共有した上で、	・活動の振り返りと打ち合わせについて、今年度の反省を踏まえて再度見直しを行う。 ・職員間でのコミュニケーションをより図り、意見交換をできる雰囲気づくりを目指す。
	(18)	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	0	・活動の打ち合わせの時間に、 振り返りの時間を設け、保育 士、リハビリスタッフ、看護師 の意見交換を実施。	て、今年度の反省を踏まえて再度見直
	9	日々の支援に関して記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげて いるか	0	・記録を取ることで、目標の達成度合いの確認や支援方法の改善に活かしている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発 達支援計画の見直しの必要性を判 断しているか	0	・6か月以内にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを実施。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス 担当者会議にその子どもの状況に精 通した最もふさわしい者が参画してい るか	0	・サービス担当者会議に、併設する診療所の院長、園長、児発管、担任、看護師など、必要に応じてリハビリスタッフが参加している。 ・必要に応じて、通園の方から主催することもある。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の 関係者や関係機関と連携した支援を 行っているか	0	・必要に応じて、児相や保健 師、相談支援専門員との連携や 情報交換を実施。	・今後も連携機関との必要に応じた連 携を図る。

関	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症 心身障害のある子ども等を支援して いる場合) 地域の保健、医療、障 害福祉、保育、教育等の関係機関 と連携した支援を行っているか	0		・必要に応じて、個別支援会議 を実施。	・今後も継続。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症 心身障害のある子ども等を支援して いる場合)子どもの主治医や協力医 療機関等と連絡体制を整えているか	0		・必要に応じて、併設する診療 所の院長を通して主治医や協力 医療機関との情報交換を実施。 ・看護師が保護者と直接連絡体 制について確認している。	・今後も継続。
係機関や保護者との	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	0		業所)との情報交換を年1回以	・情報交換に留まらず、今後も支援会 議を実施し、情報交換と具体的関わり の検討まで進めていく。
連携関係機関やの	26	移行支援として、小学校や特別支援 学校(小学部)との間で、支援内 容等の情報共有と相互理解を図って いるか	0		・小学校の先生による訪問、情報交換、添書を作成している。 ・学校への移行に向けて、保護者とサポートブックの作成を 行っている。	・今後も継続。
保護者との連携	2	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0		療育研修報告会を案内してい	・他機関の施設の機能について、情報 収集に努め、利用者へのサービスにつ なげていく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等と の交流や、障害のない子どもと活動す る機会があるか	0			・参加対象児が限られるため、幅を広 げていきたい。
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や 地域の子ども・子育て会議等へ積極 的に参加しているか		0	・竹末市民センター子育てネットワークに参加。	・地域とのつながりを深めていけるよう様々な方法を検討していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題 について共通理解を持っているか	0		頃の様子を聞き取るように信頼 関係づくりに心がけている。	・保護者と共有している個別支援計画 の目標や、関わり方について、保護者 に対して具体的に言語化して伝えられ るように努める。
	31)	保護者の対応力の向上を図る観点 から、保護者に対して家族支援プログ ラム(ペアレント・トレーニング等)の 支援を行っているか	0		・保護者講座の実施。 ・親子通園の中で、子どもへの 関わり方について、細かい手順 をその場で実践して伝える。 ・保護者に分かりやすい保育の 取り組み、介入を実施。	

	32)	運営規程、利用者負担等について 丁寧な説明を行っているか	0		・自由に閲覧できることを、オリエン テーション時に、インフォメーション していく。
	_	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		・できる限り、個人懇談会の時間を保育時間外に設定し、保護者の意見をより汲み取れるように努めた。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	0	・日常的に相談できる環境づく りや連絡帳でのやり取りを行っ ている。	・今後も継続。
保	35)	父母の会の活動を支援したり、保護 者会等を開催する等により、保護者 同士の連携を支援しているか	0	・各クラス懇談会を実施。 ・保護者のみで昼食時間を設 け、保護者間の交流促進に努め た。	・今後も継続。
護者への説明責	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	0	・運営体制の変更の際は、保護	・迅速な返答ができるように努める。 ・日頃の関わりまたはクラス懇談など を通して、保護者から相談に応じられ る機会をより設けていく。
任等	37)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	0	・園だよりやクラスだよりの定期発行。 ・月の活動内容とねらいを掲示 し、保護者にインフォメーショ ンしている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	0	・行動規範チェックリストをつけ、事業所全体で確認を実施。 ・個人を特定できる掲示物等については、取扱いに十分注意している。	・今後も継続。
	39	障害のある子どもや保護者との意思 の疎通や情報伝達のための配慮をし ているか	0	・子どもや保護者に合わせた関わり方をするよう配慮している。(ジェスチャー・選択肢の 提示・視覚支援など)	・今後も継続。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0		
		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	0	・職員間でのマニュアル周知を 実施。 ・防犯訓練を実施。	・保護者への周知の方法の検討。

	_			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に 避難、救出その他必要な訓練を行っ ているか	0	・月1回の火災訓練、年1回の ・地震訓練についての検討。 防犯訓練を実施。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん 発作等のこどもの状況を確認している か	0	・健康面の配慮点や予防接種に ついては、保健調査票で入園時 に確認。 ・看護師中心の対応。発作時の 対応については、一人ひとり毎 年確認。お薬手帳の確認。
非常時等	44	食物アレルギーのある子どもについて、 医師の指示書に基づく対応がされて いるか	0	・医師からの診断書を基に対 ・今後も継続。 応。通園係、診療係、調理員全 員で内容を確認。
の対応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所 内で共有しているか	0	・所内のリスクマネージメント 委員会を月1回実施し、情報を 共有するとともに、その都度対 応を検討し、事蹟を所内で共有 できる体制を整えている。ま た、毎日の打ち合わせで情報共 有を図っている。
	_	虐待を防止するため、職員の研修機 会を確保する等、適切な対応をして いるか	0	・行動規範チェックリストをつ け、事業所全体で確認の実施。 ・職員の虐待研修や人権研修へ の参加。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	0	・入園の際,保護者には身体拘 束を必要とする場合を文書で説 明し、了承を得ている。現在、 個別支援計画には記載していない。